

うたごよみ

# 曾於文藝

「題字」  
末吉文化協会会員  
瀬戸口 淳 氏

## 俳句

### 千草俳句会

清流に触れて揺るるや紅うつぎ

川辺 良彩

めぐりくる友の忌日や新茶くむ

浜田 郁子

風立ちて葉ざくら大きくうねり  
けり

高橋てる女

### 大隅俳句会

山桜高速開通祝ひをり

野上田 憲緒

雨つづく更に重ね着若葉冷

河南 ミホ

若葉風重なり合ひて谿深し

中島 玉水

## 短歌

### 末吉短歌会

早春の朝の静寂破りたるテニス

コートに響く球の音

草野 ミツ子

軽トラックを見れば亡夫かと思  
ねたる認知症の母に父は生きる  
て

大森 澄子

水盤に椿いちりん浮かばせて来  
るあてのない春の客待つ

森岡 ちどり

### 大隅短歌会

わが母を詠みし数首を読み返し  
まろくなりゆく我に気付きぬ

西山 美代子

バスタオルあの子この子の使い  
しがまた来る日まで箆筒に眠る

川田 サダ子

散り急ぐさくらの花を惜しむなり  
従兄弟四人の戦死の墓地に

米沢 正敬

## 財部短歌会

炎にて焼かれし如く大霜は黒こ  
げとなす弱きもの皆

祝迫 道雄

ハンドルを右にと切れば真向か  
ひに高千穂の峯雄姿凜たり

富山 治雄

アナログのテレビの命あと僅か  
地デジ宣伝茶わんむしの歌

川俣 若

仰ぎ見る赤き椿は夕日に映えこ  
ぼるごとくわれに迫り来

杉村 リカ

桜見れば我れ戦時中を偲ぶなり  
心弾めど悲しくもあり

瀬戸口 芳子

酒飲みがカラオケ歌ふ古里に太  
鼓・三味線も花見では絶え

児玉 次雄

梢高く咲きし一輪山椿得たる高  
座に春の雪ふる

井上 澄子

ねんねんよ認知進みし君ならば  
静かにお休み無意識のままに

橋口 貞男

## 薩摩狂句

### にがごい会末吉支部

ひやつぎ  
百才迄やち 頑張っ登ろち  
建し夫婦

桐野 奈世

て  
手がでらん 鰻登いの  
たつかやせ  
高値野菜

浜田 一好

のぼ  
登い坂げ すったい辛ん  
よとい坂げて  
弱々し五体

森山 厚香

### 大隅薩摩狂句会

はやいちゅ  
流行言が醜青年にや合わん細か  
めげ  
眉毛

西山 美代子

なが  
長ごなつた白り眉毛を切っ見栄  
を張っ

黒木義士

び  
デート日な眉毛も可愛らしゆ  
か  
書つ直えつ

神宮司 素水